

本年度第1回オープンキャンパス

# 芽生えた医療への志 荒天の中、676人参加

本年度の第1回オープンキャンパスが14日（日）開かれました。朝から強い雨が断続的に降るあいにくの天気となり、予定より30分早く終了となりましたが、熊本県内外から高校生や保護者計676人が来学し、学内探訪、模擬実習、個別相談などに精力的に臨みました。



顕微鏡でがん細胞を観察する高校生



聴診器を当てて、気分は看護師

学科ごとに3会場に分かれてあった全体説明、学科説明の後、来学者たちは目指す学科・専攻の模擬実習、進学・奨学金・アパート相談など、お目当てのコーナーへと足を運んでいました。模擬実習では、各学科・専攻が工夫を凝らした実験や測定、実技など体験型のコーナーが目白押し。学生たちの手ほどきを受けながら、生徒たちが実際に実験器具や診察器具を使ったり、診断用ゲームや各種体力測定を経験したりしていました。また、ピア・サポーターによる恒例の学内見学ツアーや、「先輩と話してみよう」コーナーも盛況でした。

将来スポーツ関係の仕事に就きたいという県内の高校3年生男子は「設備が整っている上に、思っていた以上に親しみやすい雰囲気」と心ひかれた様子。看護師を目指し進学先を思案中という鹿児島県の高校3年の女子生徒は「施設のきれいさが印象的。模擬実習の体験はすごかった」と目を輝かせていました。

第2回オープンキャンパスは8月18日（日）にも行われます。入試・広報課の久保田憲寿課長は「昨年度を上回る申し込みがありました。荒天のためキャンセルが相次ぎ残念。第2回はより多くの人たちに本学の魅力を伝えたい」と話していました。（NL編集部）



学生たちの声援を受け、脚力の限界に挑戦

ピア・サポーターの先導で学内ツアーに出発



## 慢性炎症改善に有効な温熱メカニズム明らかに

“喉元過ぎれば熱さ忘れる”と言うように、私達は限られた部位の温度を感じています。しかしTRPV4等の温熱受容体は全身諸臓器に存在し、消化管はもちろん、諸々の細胞は熱に確実に反応しています。

かつて入浴・サウナの効能は生理学的レベルでしか語れませんでした。しかし、1997年のTRPV1受容体発見（2021年のノーベル賞）に引き続き、次々と温熱受容体が発見されました。37℃の体温下で様々な代謝を行うために、それぞれの細胞に温熱受容体があることは理にかなっていますね。

慢性腎臓病への温熱習慣効果は、岩下

佳弘先生が明らかにし、そのメカニズムの一部として、腎皮質血流がTRPV4と交感神経の複合作用で制御されることを本学08杉本さんが明らかにし、近々腎リハ学会誌で公開されます。また同じく本学08前田さんは、単球のTRPV4刺激がその後の分化に与える影響を明らかにしつつあります。

来年度以降は、慢性炎症に関わる免疫細胞と温熱受容体との関わりへと、さらに研究を掘り進めたいと思います。突き詰めると、温熱が急性炎症に禁忌で、慢性炎症改善に有効なメカニズムや、湯冷めで風邪をひくメカニズムの解明につながるものと思っています。

基礎研究 (C)  
2022-24年

リハビリテーション学科  
理学療法学専攻

飯山 準一 特任教授

## 定期試験対策相談会で1年生の不安解消

ピア・サポ  
通信

1年生を対象とした「ピア・サポーターによる定期試験対策相談会」を2日（火）～5日（金）の昼休み、キャンパステラスで開催しました。会場は終始和やかな雰囲気に入れ、学生同士の貴重な情報交換の場となりました。

「試験に向けての勉強方法」や「出題傾向」についての質問に、ピア・サポーターが自身の経験を踏まえながら答え、エールを送りました。参加した1年生は「初めての試験への不安が軽減された。頑張りたいと思う」と笑顔で意気込みを語ってくれました。

試験前は多くの学生が、大きな不安を抱えると思います。ピア・サポーターはその不安に寄り添い、万全な状態で臨むための一助になれるよう、養成講座等の研修で学んでいます。後期も「定期試験対策相談会」を開催予定です。皆さんのご来

場お待ちしております！（ピア・サポーター＝看護学科2年、齊藤里歩）



1年生の質問に答えるピア・サポーターのメンバーたち（ピンクのTシャツの3人）

## 大邱保健大生も参加 西里駅清掃

学友会の呼び掛けによるJR西里駅清掃が13日（土）に行われ、学生・教職員23人が、日頃利用している駅舎の草刈りや清掃、周辺のゴミ拾いに取り組みました。

今回の西里駅清掃には、翌日に帰国を控えた韓国・大邱保健大学の交換研修生8人も約2週間の研修の締めくくりとして参加。「帰る前に熊保大の学生と一緒にボランティア活動に参加し、良い思い出を作りたい」と、本学学生たちと汗を流しました。

作業中は雨が降り続き、全員がびしょ濡れになりましたが、きれいになった駅舎を見て笑顔で帰路につきました。（入試・広報課）



清掃後、記念撮影する本学学生と大邱保健大の交換研修生たち

■PT卒業研究計画発表会 リハビリテーション学科理学療法学専攻の卒業研究計画発表会が10日（水）、50周年記念館であり、3年生59人が19グループに分かれ研究計画を発表しました。グループごとに10分の持ち時間（うち質疑応答5分）で行われました。発表内容は、リズムトレーニングや舌への体性感覚刺激、音楽の歌の有無、厚底靴など多岐にわたり、登壇した学生たちは熱心に研究計画を披露。会場からは鋭い質問が飛び交い、学生たちは丁寧に答えていました。（入試・広報課）



研究計画発表会の会場

職員案内で図書館を見学する大津高校生



■大津高校2年生が来学 大津高校理数科の2年生40人が11日（木）、来学しました。一行は入試・広報課職員から大学の概要や医療職についての話を聞きました。特に医療職の話のときに生徒たちは、熱心にメモを取っていました。その後、図書館エリア、就職・実習支援課などを見学しました。（入試・広報課）

■都城西高校の17人も 宮崎県立都城西高校の生徒17人が18日（木）に来学し、模擬授業を体験しました。一行は入試・広報課の職員から本学の概要や医療職についての説明を受けた後、生活機能療法学専攻の小手川耕平講師による模擬授業を受講。学内見学では学食も利用し、大学生気分を味わっていました。最後に同校卒業生で大学院臨床検査領域の福田智輝さんが大学生活に関する体験談を披露。後輩たちの質問にひとつひとつ丁寧に答えていました。（入試・広報課）



小手川講師による模擬授業を受ける都城西高の生徒たち

## インフォメーション

### 週間行事予定（7月23日～29日）

7/26（金）	助産別科実習適格認定授与式
---------	---------------